

平成 31 年度 珠洲市立正院小学校 前期 学力向上プラン
プラン名 続・ホップステップジャンプとダブルジャンプの二刀流（50％）

1 授業づくり

12か条+（プラス）
2条 8条

(1) 現状と課題（R）

課題	現状（科学的データ）						
これまでの取組から、基礎的な力、活用力は身につきつつあるが、十分とは言えない。 特に、活用問題において、問題を解決するポイントを焦点化し、表現することが弱い。	平成３１年度 学力向上プラン等						
	ベネッセ（後期）	学年別 総合達成率	低 85%, 高 70%以上			低	高
		学年別 応用達成率				低	高
	研究授業（１年間）	３段階B評価以上	65%以上				
	活用する力をみる問題（１年間）	各学年 正答率	75%以上	1年 4年	2年 5年	3年 6年	
		全学年 領域別正答率	A	B	C	D	
	ダブルジャンプ問題取組（後期）	各学年 取組率	65%以上	全			
	学習アンケート（後期）	各項目強肯定	75%以上	2	☆32		
	平成３１年度 全国学力学習状況調査（算数）・質問紙						
	正答率	無回答率	知識活用	・活用のみ			
	１（２）図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成している記号を選ぶ					正答率	
	１（３）示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する					正答率	
３（４）示された除法の式の意味している記号を選ぶ					正答率		
（５０）算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える					強肯定		
[要因] ◎３問・ダブルジャンプスタイルの取組から、安定した授業が行えるようになった。 ◎お手本しずこさんやズバリボードの取組から、基礎的な力がついた。 ○ダブルジャンプ問題によって、活用力が身につきつつあるが、十分ではない。 △式の意味の理解や、図や式を関連付け、筋道立てて、考察し表現することが弱い。							

(2) 計画と実行（P・D）

前期目標	具体的取組		
問題を解決するポイントを焦点化された中から、選択し、表現することができる。	①式や図、言葉を関連させたお手本しずこさんを提示する。 ②ズバリボードを使い、端的に方法の見通しを確認する。 ③どーなつボードで、問題解決するための発問とその答え（選択式）を記載する。 ④単元末に、生活に関わるダブルジャンプ問題に取り組む。		
	③【6年対称な図形】 発 点対称な図形を見つける方法は？ 答 ぴったり重なる 折って？180度回転？		
			
評価項目			評価（結果）
◎全国学力調査・類問 H28B 5等	6年生	50%以上	
○活用する力をみる問題	各学年 正答率	1年 76.7% 2年 76.7% 3年 84.2% 4年 72.6% 5年 87.4% 6年 56.6%	
	前年度同一集団以上		
	全学年 領域別正答率	75%以上	
・研究授業	3段階B評価以上	70%以上	
・ダブルジャンプ問題取組	各学年平均	70%以上	
・学習アンケート	2 ☆（50）強肯定	70%以上	

(3) 検証と改善策（C・A）

月	評価項目（誰が、いつ）	結果	改善策
4	□活用する力をみる問題（学担・第4週）		
	□学習アンケート（検証・研修支援、第4週）		
5	□活用する力をみる問題（学担・第4週）		
	□研究授業（全員・21日）		
6	□活用する力をみる問題（学担・第4週）		
	□研究授業（全員・27日）		
7	□学習アンケート（検証・研修支援、第2週）		
	□全国学力調査・類問（指導・研究、第2週）		
	□活用する力をみる問題（学担・第4週）		
	□ダブルジャンプ問題取組（検証・研修支援・第3週）		

2 基盤づくり

前期目標	具体的取組	評価	
返事をする姿と 相手に伝えようとする姿を磨く （学校全体・各月 85%以上）	・生徒指導主事が、集会で良い姿の大切さを指導する。 ・児童会運営委員会担当が、委員会活動で月目標に反映させる。 ・学級担任が、強化日（毎週月金）に、児童に自己評価させる。	4月	
		5月	
		6月	
		7月	